

科目名		経営工学特論(Advanced Management Engineering)							
学年	専攻	単位数	必修/選択	授業形態	開講時期	総時間数			
第2学年	経営情報工学専攻	2単位	選択	選択	後期	90時間			
担当教員		【常勤】講師 挾間 雅義 (【副担当】岩本 英久(呉高専), 未定(徳山高専))							
学習到達目標									
科目の到達目標レベル	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営管理、販売管理についてやや難しい知識を理解し、発展的に応用できる。ビジネスプランについては自主的かつ発展的にチームをリードしながら構築できる。</li> <li>経営工学手法を理解し、プログラミングを用いて、モデルを作成することができる。</li> </ul>								
到達目標(評価項目)	優れた到達レベルの目安	良好な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安	未到達レベルの目安					
到達目標①	経営管理・販売管理について、やや難しい知識を有することができ、発展的に応用できる	経営管理・販売管理について、正しく理解でき、応用できる	経営管理・販売管理について、ある程度の知識を有し、すこし応用できる	経営管理・販売管理について少しの知識しか有さず、応用もできない					
到達目標②	ビジネスプランを自主的かつ発展的にチームをリードしながら構築できる	ビジネスプランを自主的に構築できる	ビジネスプランを定められた書式の範囲内で構築できる	ビジネスプランを構築できない					
到達目標③	プログラミングを用いて作成し、シミュレーションをすることができる	経営工学手法を用いてモデルを創造することができる	経営工学手法の基本部分を理解できる	経営工学手法を知らない					
学習・教育到達目標	E		JABEE基準1(2)		(d)-(2)				
達成度評価(%)									
評価方法	中間試験	期末・学年末	小テスト	レポート	口頭発表	成果品	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	40	40		20					100
知識の基本的な理解【知識・記憶、理解レベル】	◎	○							/
思考・推論・創造への適用力【適用、分析レベル】	○	◎		○					
汎用的技能【情報収集、活用、発信力】				○					
態度・志向性(人間力)【主体性】				○					
総合的な学習経験と創造的思考力【創成能力】				○					

**関連科目，教科書および補助教材**

<b>関連科目</b>	経営工学ⅠA、経営工学ⅠB、経営工学ⅡA、経営工学ⅡB、品質管理論、生産管理論
<b>教科書</b>	プリントを配布する
<b>補助教材等</b>	プリントを配布する

**学習上の留意点**

応用的な内容を扱うため、少し難しいと思うかもしれないが、わからない部分はまず、自分たちで調べ、次に教員に質問することで解決させておく必要がある。半期の中で講義とグループワーク形式により、他高専間の学生と交流し、コミュニケーションを取りながら、いろいろな視点で経営工学特論(呉高専では経営管理工学)の内容を理解する。

**担当教員からのメッセージ**

他高専生との交流形式で授業をおこないますので、楽しみながら取り組んでください。

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	1. 連携教育に関するガイダンスと遠隔チーム編成	・授業の進め方について理解できる ・遠隔チーム編成が構築できる	(予習) Office365などICTの操作の習得
2	2. 企業経営の基礎と起業計画および販売管理	・企業経営の基礎を理解し、起業・創業の基礎を理解できる ・ビジネスプラン作成方法を理解する ・市場調査、プロモーションミックス、AIDMAを理解できる	(復習) ビジネスプラン作成方法と販売管理について
3	3. 販売管理ワークショップ	・広告に関するワークショップ(WS)を通じて、遠隔グループワークを実践できる	(予習) AIDMA (復習) チームでまとめた内容の確認
4	4. ビジネスプラン作成WS 1 ガイダンス	・テーマを理解し、市場調査方法、原価計算手法、利益計画立案方法を理解する	(予習) ビジネスプラン作成方法について (復習) 市場調査方法、原価計算法、利益計画立案法
5	5. ビジネスプラン作成WS 2	・仮想商品の市場調査を実施できる ・原価を想定し、利益計画を立てることができる ・チームで役割分担し、チームワークができる	(予習) Office365などICTの操作 (復習) チームの情報共有と整理
6	6. ビジネスプラン作成WS 2	・ビジネスプランを発表することができる ・ビジネスプランをレポートにまとめることができる	(予習) チームで収集した情報の集約 (復習) レポートの作成
7	<b>中間試験</b>		
8	7. スケジューリング手法WS 1 ガイダンス	・スケジューリングに関して、基礎から復習し、演習問題が解けるようになる	(予習) R言語もしくはVBAやC言語の基本的理解をする  (復習) レポートにより内容を理解すること
9	8. スケジューリング手法WS2	・スケジューリングに関する演習問題を解き、やや複雑な内容の問題を解くことができる	
10	9. スケジューリング手法WS3	・プログラミングを用いて、スケジューリングモデルを作成することができる	
11	10. 意思決定法(待ち行列理論) WS1 ガイダンス	・待ち行列に関する方法論を理解する	
12	11. 意思決定法(待ち行列理論) WS2	・待ち行列に関して、演習問題が解けるようになり、やや複雑な内容の問題を解くことができる	
13	12. 意思決定法(待ち行列理論) WS3	・プログラミングを用いて、待ち行列モデルを作成することができる	
14	13. 意思決定法(待ち行列理論) WS4	・プログラミングを用いて、やや複雑な待ち行列モデルを作成することができる	
15	答案返却、解答解説	・試験問題の解説を通じて、間違った箇所を確認し、理解することができる	
<b>総 学 習 時 間 数</b>			90 時間
<b>講 義</b>			30 時間
<b>自 学 自 習</b>			60 時間